

# 海田南小学校 授業紹介 コーナー

(ここでは、海田南小学校の様々な先生達の授業の様子を随時紹介しています。)

5月 10日	第2学年1組	国語科	授業者( 中嶋 奈保子 教諭 )
NO.2	参観者(教頭・主幹・西村・今井・津田)		記入者 (教頭 永野)

## 【1】 授業の概要

「日直さんと目を合わせましょう」子ども達の背筋が自然に伸びました。日直の声もよく通り、気持ちよいあいさつをした後、導入の「ある・なしクイズ」が出されました。「サッカーにはあつて・野球にはない」・・・クラス全員の集中力がぐっと高まり、盛り上がりを見せます。正解は「カタカナで書くもの、ひらがなで書くもの」でした。学習のめあてに直結していたので、自然な流れで授業が進みます。カタカナで書くものを各自が考え、ワークシートに記録する。全体へ発表して、先生が分類します。そして、その分類された理由をみんなで考え、カタカナで書くのはどんな時なのか、まとめることができました。とても落ち着いた雰囲気、先生が一人一人の考えを大切にする、温かい授業でした。

## 【2】 授業の素晴らしい点と学び

### ①3分に1回は「褒められる」授業

授業の前にお兄さん・お姉さんとして1年生に接したことを皮切りに、担任の先生が褒める褒める、とにかく褒める言葉がたくさん出てくる授業でした。「姿勢がいいねえ」「手の挙げ方がすごい」「もう鉛筆もっている。すごいねえ」と、頑張っている姿を見逃さない先生。子供達はそこから大切な価値を理解し、身に付けていこうと頑張り始めます。「○○○しなさい」「早くしなさい」では、雰囲気も固くなり発表する気持ちもぼんやりしてしまいます。主体的に頑張ろうとする気持ちにするためには、褒めるべきことを的確に、タイムリーに褒めることが一番だと思われます。褒めるべき行動、褒めるべきタイミング、褒めるべき児童を見極める力を磨いていきましょう。

### ②思考力を鍛える授業

個人でしっかり考える時間を十分に確保されていました。「カタカナで書くものは何かな」「どんな決まりがあるのかな」と、頭をフル回転して考えていました。もちろん気になる児童に対しては隣に寄り添い、個別に指導をされていました。少し大きな声でヒントや考え方を伝えることで、他の児童に対しても良い刺激を与えていました。児童の発表した「カタカナ語」を板書するときにさりげなく分類して書いて、「先生がどういう意図でそうまとめたのか」という問いを出されました。大好きな先生の考えを当てるといふことに魅力を感じた子ども達は、活発に意見を出していました。考えるべきことが明確にされていたので、児童も考えやすかったと思います。まとめの時間にも児童が考える時間をしっかり確保していましたし、ワークシートも書きやすいように四角を埋めるよう工夫がありました。

### ③見通しを持ち全員が参加する授業

何分までに何をするのかを2年生であつてもきちんと伝えて、見通しをもたせてから取組ませました。時間配分がしっかりしていて「考える・発表する・まとめる」という流れが、時間通りに進んでいきました。そして全体への発表の時間もしっかり確保されていました。できるだけ多くの児童に発表の機会があるように「今手を上げている人は全員立ちましょう。みんな発表していきましょう」と、手際よく多くの児童に発表させていきました。友達の前で発表することが自然にできるように、慣れることから始めるといいと思います。

